

事前意見書

委員名	内容	市の回答、考え方
佐々木ちよ子 委員	①スポーツの振興は結構なことですが、ガイナレ鳥取が一般市民にどれほどの影響、効果を与えているのか知りたいです。(無知ですが、このチームだけに市の財源を使うのはなんで?と思いました。)	<p>ガイナレ鳥取がJリーグに昇格し、昨シーズンはホームゲームに7万人の観客を動員し、市街地が緑のユニホームで溢れるなど市民の皆さんの活力の源になっています。</p> <p>また、全国各地から多くのサポーターを呼び込み、昨シーズンの経済波及効果は6億5千万円と推計され、本市経済の活性化に大きく貢献しています。</p> <p>市の取り組みの基本的な考え方は、チームへの財政支援ではなく、市民への応援の働きかけやガイナレの全国的な知名度を活かした鳥取市のPR、或いは市街地への消費活動の促進など、交流人口の増加による市内にぎわいと活力の向上を目指すものです。</p> <p>担当：企画調整課</p>
	②芝生化を進める事は温暖化に対しても大変良い事だと思いますが、その維持や世話は地域、市民がするのですか、行政がするのですか？	<p>本市における芝生化は、行政が芝の苗や肥料など材料の調達を支援し、植付や散水・芝刈りなどの維持管理を市民に行っていただく協働の芝生化を基本として、進めることとしています。</p> <p>担当：都市環境課</p>
	③人権意識の醸成の目標達成が100%になっていますが、本当でしょうか。地域での小地域座談会など参加人数は年々と少なくなっていると思うし、内容もここ何年も変わっていないように思うのですが、私だけでしょうかそう思うのは。	<p>人権意識の醸成では、平成24年1月末現在、企業内人権研修参加者6,050人、小地域懇談会参加者8,137人です。年度末までの見込参加者をそれぞれ6,200人と8,600人とし、目標値を達成できるものと考えています。</p> <p>企業内人権研修・小地域懇談会とも各企業・各地域が主体的にさまざまな人権問題について取り組まれているものであり、市は、今後も引き続き積極的に支援をし、市民の人権意識の高揚を図っていきたいと考えています。</p> <p>担当：人権推進課</p>

委員名	内容	市の回答、考え方
	<p>④災害時要援護者支援制度の実施は大変よい事だと思います。地域で守り合う大切さをみんなが共有して進めて行って欲しい施策です。</p>	<p>本市では、高齢者や障がいのある方など災害弱者の方の災害時における支援を地域住民の皆さんの相互の助け合いによって行う災害時要援護者支援制度を市内全域に広げるよう取り組みを行っています。</p> <p>平成24年2月現在で市内62地区中50地区で取り組みされています。平成24年度中には全地区で取り組みしていただくよう要請していきます。</p> <p>担当：障がい福祉課</p>
	<p>⑤環境大学が公立法人化して学生も増えて大変良い事ですが、卒業してからの職場を鳥取に居てもらわないと若者が定住する街にはならないと思いますが、企業の確保は出来るのでしょうか。その進み具合はどのようになっているのでしょうか。</p>	<p>平成25年度までに2千人以上の新たな雇用の場を市内に創出することを目標に掲げた「鳥取市雇用創造戦略方針」を平成22年6月に策定し、成長産業における雇用創造や産業全般の底上げによる雇用創出に積極的に取り組んでいます。また、若者の雇用のマッチングを進めるため、「とっとり若者インターンシップ事業」を重点的に取り組むとともに、以前から取り組んでいる高校生の企業見学会に加え、本年度から鳥取環境大学、鳥取大学を対象にした企業見学会を行っています。さらに雇用の場を確保する企業誘致についても平成23年度8企業（24年2月末現在）と積極的に取り組んでいます。</p> <p>担当：経済戦略課雇用創造推進室</p>